

常任委員会報告

総務民生常任委員会

(8月25日開催)

1. 調査事項

(1) 過疎地域自立促進新十津川町計画案

活発な住民活動を促進し、町民と行政が一体となった協働のまちづくりを推進するとともに、地域の自立促進対策として、本町の主要産業である農業の活性化の推進、恵まれた地域資源、自然環境を生かした農村景観の創出や都市と農村の交流促進、さらには、地域の自主的活動の推進など、ハード、ソフト両面にわたる施策の展開を図る内容となっている。

(2) 町内地域公共交通の実証運行

【実証運行の概要】

- ・ 期間 10月16日～11月30日
- ・ 実施内容 乗り合いタクシーによる運行

(期間中中央バスの「総進

線「上総進線」は全便運休)
・ 乗車運賃 有料

(チケット制で旧吉野区300円、旧幌加地区400円・その他の地区200円)

- ・ 予約 完全予約制で予約がない場合は運休となる。
- ・ 乗降場所 バス停ではなく自宅付近で乗降。

2. 報告事項

(1) 平成22年度人事院勧告の内容

・ 給料、ボーナスともに引き下げ(平均年間給与は9万4千円の減額)

(2) 平成21年度介護保険広域運営の実績

空知中部広域連合の介護保険サービス実施状況として、居宅サービスの年間延べ利用人員、地域密着型サービスの年間給付費等9項目の状況説明、介護認定判定状況、介護サービス別給付実績等の説明を受けた。

(3) 子育て支援センターの運営状況

同センターの利用者数は、5,421人で平成20年度比15%減少している。要因として新型インフルエンザの影響が大きい。

(4) 平成21年度町税の収納状況

町民税、法人税、固定資産税、軽自動車税は増収。町たばこ税、入湯税は減収(全て前年比較)

経済文教常任委員会

(8月3日開催)

1. 調査事項

(1) 中学校耐震補強・大規模改修工事

中学校は、新耐震基準(昭和56年)以前に建設されているため、平成20年度に耐震2次診断を行った結果、耐震基準を満たしておらず、平成21年度耐震補強及び大規模改修工事の設計を実施し、今年4月工事に着手した。7月30日現在の工事進捗率は25%であった。

▷改修工事中の中学校



経済文教常任委員会

(8月23日開催)

1. 調査事項

(1) 樺戸二期(徳富ダム工事関係)

・ 総事業費752億2千万円、22年度予算47億円、繰越分を入れると53億5,200万円

・ 工種 基礎処理工、雑工、徳富ダム注水工7.4km

(21年度末進捗率87・6%)

(2) 樺戸事業(頭首工・用水路関係)

・ 総事業費236億9千万円、平成22年度予算4億円、繰越分を入れると5億7,400万円

(21年度末進捗率97%)



▷徳富ダムと奥にはピンネシリ

